

## 浜田に根ざした仕事を

## 何でも司法教室

弁護士

今城 崇さん



Q なぜ、浜田で弁護士になったのですか？

私は少し変わった名前なので、法律相談をしていると「沖繩の出身ですか」と聞かれるのですが、小学校から大学まで、ずっと東京で過ごしました。

浜田に勤務することになったのは、地方で仕事をしたいと思い、事務所を探していたところ、今の事務所を見つけたのがきっかけです。

浜田で勤務をしてみて実感したのは、東京に比べて時の流れが穏やかで、人に対して優しい土地柄であるということでした。

東京では、通勤の満員電車で疲れた顔をした人がたくさん乗っていますが、浜田ではそんなことはありません。横断歩道をおばあちゃんが渡るうとしてると車が待ってくれます。これは仕事をしているときにも感じることです。

また、浜田には豊かな自然もあります。仕事で移動中、日本海が目の前に広がり、目を奪われることもあります。萩・石見空港で飛行機を降りたときの空気のうまさの違いです。石見地方っていいなと思う瞬間です。

これから梅雨に入れば、浜田港のアジの脂がのり、三隅川や高津川のアユの香りが増してくると思います。夏から秋にかけては桜江のゴボウ、弥栄の米、冬にはイノシシ、地酒、どろろとおいしいものも盛りだくさんです。このような空間と時間の中で生活することが、元々の人間の幸せであるような気がします。

地域で働き、地域の水やお酒をいただき、春夏秋冬、地域のを食していくうちに、少しずつ浜田の弁護士になっていくのだと信じて、仕事に励んでいます。

(弁護士法人佐和法律事務所)